



住宅用火災警報器Q&A



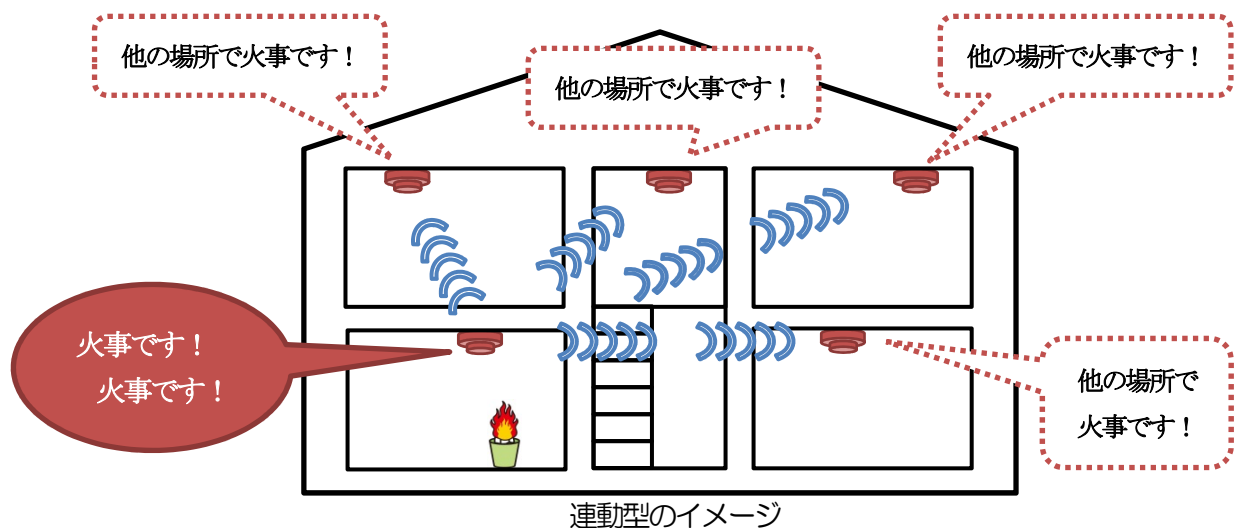
Q1 住宅用火災警報器って何じゃろか？

A1 住宅内（家の中）で起きた火事をいち早く知らせてくれる機器です。
火事により発生する煙や熱を感知し、音や音声で火事を知らせてくれます。

Q2 いろんな種類があるようなんじゃけど？

A2 住宅用火災警報器には、**煙感知式**（煙を感知）と**熱感知式**（熱を感知）があります。
電源は、**電池タイプ**と**コンセントタイプ**があります。
設置する場所で見ると、**天井設置タイプ**と**壁掛けタイプ**があります。
火事を感知した住宅用火災警報器だけが知らせる**単独型**と、連動の設定をしているすべての住宅用火災警報器も知らせる**連動型**があります。なお、連動型には、配線で接続するタイプと無線で接続するタイプ*があります。

* 無線で接続するタイプは、電波到達距離は障害物がない場所（水平見通し距離）で約100mです。壁などの周囲の環境によって届く距離は、短くなります。



Q3 どこで買えるん？

A3 お近くのホームセンターや電気店、インターネットなどで購入できます。
価格は、メーカーや種類などにより異なります。

※ 消防署では、住宅用火災警報器や消火器などを販売していませんので、訪問販売などには十分注意してください。また、「消防」を名のり防災グッズを無料配布するなどと言って、家族構成などを訪ねる電話や訪問もありますので、注意してください！

Q4 住宅用火災警報器を付けにゃあいけん場所は、どこなん？

A4 すべての寝室（就寝に使う部屋）と寝室がある階の階段上部（1階の階段は除く。）に取り付けることが必要です。

また、階数などによっては、その他の箇所（階段）にも必要になる場合があります。

※ 寝室と階段は、**煙感知式**を取り付けてください。（熱感知式は、ダメです。）

※ 台所への取付は、任意になります。

Q5 メンテナンスの方法は、どねんすりゃええん？

A5 定期的に外観と機能を点検してください。

- ・ 外観の点検

ホコリなどが付いていると感知しにくくなったり、誤って感知して鳴ることがあります。定期的に乾いた布で拭き取るなどしてください。

- ・ 機能の点検

1ヶ月に1回を目安に、ボタンを押すか、ひもを引いて、正常に作動するか確認してください。

※ 故障か電池切れか分からないときは、取扱説明書を確認するか、メーカーなどにお問い合わせください。

また、設置後10年を目安に本体の交換をしましょう。

Q6 警報音がなったときやあ、どねんすりゃええん？

A6 火事のとき

火元（燃えている場所）を確認して、**119番通報**してください。

可能であれば消火器などで、**初期消火**をしてください。

天井に燃え移ると消火が困難です。至急**避難**してください。



火事でないとき

たばこの煙、調理中の湯気、煙の出る殺虫剤などで警報が鳴ることがあります。ボタンを押すか、ひもを引くと音が止まります。必要に応じて換気をしてください。それでも音が止まらない場合は、メーカーなどにお問い合わせください。

電池切れでもお知らせの音が鳴ります。

※ メーカーによって異なりますので、必ず取扱説明書を確認してください。

